

様式第2号の1-②【(1)実務経験のある教員等による授業科目の配置】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の1-①を用いること。

学校名	専門学校日本デザイナー芸術学院
設置者名	学校法人英智学園

1. 「実務経験のある教員等による授業科目」の数

課程名	学科名	夜間・通信制の場合	実務経験のある教員等による授業科目の単位数又は授業時数	省令で定める基準単位数又は授業時数	配置困難
文化教養 専門課程	デザイン芸術学科マンガ科 デザイン芸術学科コミックイラスト科 デザイン芸術学科ゲームイラスト科		900 時間 1440 時間 1200 時間	160 時間	
	デザイン芸術学科イラストレーション科 デザイン芸術学科アニメーション科 デザイン芸術学科ライトノベル科		1080 時間 1500 時間 1680 時間	160 時間	
	デザイン芸術学科グラフィックデザイン科 デザイン芸術学科アプリケーションデザイン科		1680 時間 1320 時間	160 時間	
	デザイン芸術学科写真映像科 デザイン芸術学科雑貨デザイン科		1560 時間 1560 時間	160 時間	
(備考)					

2. 「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表の公表方法

ホームページ ( <a href="https://nichide.ac.jp/public/">https://nichide.ac.jp/public/</a> ) にて公表
---

3. 要件を満たすことが困難である学科

学科名
(困難である理由)

様式第2号の2-①【(2)-①学外者である理事の複数配置】

※ 国立大学法人・独立行政法人国立高等専門学校機構・公立大学法人・学校法人・準学校法人は、この様式を用いること。これら以外の設置者は、様式第2号の2-②を用いること。

学校名	専門学校日本デザイナー芸術学院
設置者名	学校法人英智学園

1. 理事（役員）名簿の公表方法

ホームページ (<https://nichide.ac.jp/public/>) にて公表

2. 学外者である理事の一覧表

常勤・非常勤の別	前職又は現職	任期	担当する職務内容 や期待する役割
非常勤	代表取締役会長	2020年4月1 日から2022年 3月31日まで	法人への経営指導
非常勤	職業・人材開発営業部 部長	2020年4月1 日から2022年 3月31日まで	学生・卒業生への就 職指導
(備考)			

様式第2号の3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】

学校名	専門学校日本デザイナー芸術学院デザイン芸術学科
設置者名	学校法人英智学園

○厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表の概要

<p>1. 授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画書(シラバス)を作成し、公表していること。</p>	
<p>(授業計画書の作成・公表に係る取組の概要)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・事業計画(シラバス)は、それぞれの科を担当する教職員によるカリキュラム検討委員会で作成している。</li> <li>・授業計画は1月から3月の間に作成し、4月の公表を予定している。</li> </ul>	
授業計画書の公表方法	ホームページ ( <a href="https://nichide.ac.jp/public/">https://nichide.ac.jp/public/</a> )
<p>2. 学修意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定していること。</p>	
<p>(授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要)</p> <p>全ての科目において60点以上の成績で、授業回数の3分の2以上の出席と認められる者に対して履修認定する。</p>	

<p>3. 成績評価において、GPA等の客観的な指標を設定し、公表するとともに、成績の分布状況の把握をはじめ、適切に実施していること。</p> <p>(客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要)          成績の評価は100点満点で60点以上を合格とする。          評価方法は、課題評価6割/出席状況2割/平常点2割とする。          (イベント校外実習/キャリアアップガイダンスは出席状況5割/平常点5割とする)</p>	
<p>客観的な指標の 算出方法の公表方法</p>	<p>シラバスに記載 (<a href="https://nichide.ac.jp/public/">https://nichide.ac.jp/public/</a>)</p>
<p>4. 卒業の認定に関する方針を定め、公表するとともに、適切に実施していること。</p> <p>(卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要)          全ての履修科目において60点以上の成績で、授業回数の3分の2以上の出席と認められる者/学費の未納がない者/卒業作品審査会において合格の判定を受け、卒業制作展に作品の展示を許可された者に対して卒業を認める。</p>	
<p>卒業の認定に関する 方針の公表方法</p>	<p>ホームページ (<a href="https://nichide.ac.jp/public/">https://nichide.ac.jp/public/</a>)</p>

様式第2号の4-②【(4)財務・経営情報の公表（専門学校）】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の4-①を用いること。

学校名	専門学校日本デザイナー芸術学院
設置者名	学校法人英智学園

1. 財務諸表等

財務諸表等	公表方法
貸借対照表	<a href="https://nichide.ac.jp/public/">https://nichide.ac.jp/public/</a> にて公開
収支計算書又は損益計算書	<a href="https://nichide.ac.jp/public/">https://nichide.ac.jp/public/</a> にて公開
財産目録	<a href="https://nichide.ac.jp/public/">https://nichide.ac.jp/public/</a> にて公開
事業報告書	<a href="https://nichide.ac.jp/public/">https://nichide.ac.jp/public/</a> にて公開
監事による監査報告（書）	<a href="https://nichide.ac.jp/public/">https://nichide.ac.jp/public/</a> にて公開

2. 教育活動に係る情報

①学科等の情報

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
文化・教養		文化教養	デザイン芸術学科	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼	2,100 単位時間/単位	1200 単位時間 /単位	0 単位時間 /単位	19,800 単位時間 /単位	0 単位時間 /単位	0 単位時間 /単位
			21,000 単位時間/単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
240人		206人	1人	9人	40人	49人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）

（概要）キャリアアップガイダンス以外の授業は実習授業となり、イラスト・マンガやポスターなどを課題として制作します。  
1週間に90分の授業が15回、前期13週/後期17週の授業時間となります。

成績評価の基準・方法

（概要）全ての科目において60点以上の成績で、授業回数の3分の2以上の出席と認められる者に対して履修認定する。

卒業・進級の認定基準

（概要）全ての履修科目において60点以上の成績で、授業回数の3分の2以上の出席と認められる者/学費の未納がない者/卒業作品審査会において合格の判定を受け、卒業制作展に作品の展示を許可された者に対して卒業を認める。

学修支援等

（概要）放課後の20時まで教室開放をしており、各学生が自習が出来るような環境を整えている。

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
111人 (100%)	0人 (%)	85人 (77%)	26人 (23%)
(主な就職、業界等) 広告制作業界、ゲーム制作業界、アニメーション制作業界、写真撮影業界、事務・販売・オペレーション・製造等一般企業			
(就職指導内容) 進路指導担当と担任が、就職志望と作家志望それぞれに分けて進路指導を行っている。連携の就職転職支援会社のサポートを受け、求人の紹介などを行っている。			
(主な学修成果（資格・検定等）) 色彩検定			
(備考)（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
238人	20人	8%
(中途退学の主な理由) ・持病(精神)が悪化し、通学する事が出来なくなった為 ・初めての1人暮らしで体調面や精神面の調子が悪くなり通学や授業を受けることが出来なくなった為 ・絵を描く気持ちが無くなってしまった為 等		
(中退防止・中退者支援のための取組) ・連絡がなく3日連続で休んだ場合は本人や保護者に連絡を取り、面談を行っている ・教員・職員が研修や勉強会に参加し、学生と信頼を築ける方法を学んでいる		

②学校単位の情報

a) 「生徒納付金」等

学科名	入学金	授業料 (年間)	その他	備考 (任意記載事項)
デザイン 芸術学科	120,000 円	640,000 円	240,000 円	施設整備費
	円	円	円	
	円	円	円	
	円	円	円	
修学支援 (任意記載事項)				

b) 学校評価

自己評価結果の公表方法 (ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) <a href="https://nichide.ac.jp/public/">https://nichide.ac.jp/public/</a> にて公開		
学校関係者評価の基本方針 (実施方法・体制) 学校関係者として専攻分野の卒業生就職先企業、関係団体の関係者及び卒業生による学校関係者評価委員会を設置し、校長主体で行った「自己評価」の結果を評価し、その評価結果を次年度の教育活動および学校運営の改善の参考とする。		
学校関係者評価の委員		
所属	任期	種別
私立専修学校の校長	2020年4月1日から 2022年3月31日まで	教育関係者
関連業界の代表者	2020年4月1日から 2022年3月31日まで	企業関係者
関連業界の卒業生	2020年4月1日から 2022年3月31日まで	卒業生代表
近隣地域の関係者	2020年4月1日から 2022年3月31日まで	地域住民代表
学校関係者評価結果の公表方法 (ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) <a href="https://nichide.ac.jp/public/">https://nichide.ac.jp/public/</a> にて公開		
第三者による学校評価 (任意記載事項)		

c) 当該学校に係る情報

(ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) <a href="https://nichide.ac.jp/">https://nichide.ac.jp/</a>
--

(別紙)

※ この別紙は、更新確認申請書を提出する場合に提出すること。

※ 以下に掲げる人数を記載すべき全ての欄について、該当する人数が1人以上10人以下の場合には、当該欄に「-」を記載すること。該当する人数が0人の場合には、「0人」と記載すること。

学校コード	H104391030023
学校名	専門学校日本デザイナー芸術学院
設置者名	学校法人英智学園

1. 前年度の授業料等減免対象者及び給付奨学生の数

		前半期	後半期	年間
支援対象者（家計急変による者を除く）		35人	32人	35人
内訳	第Ⅰ区分	17人	16人	
	第Ⅱ区分	-	11人	
	第Ⅲ区分	-	-	
家計急変による支援対象者（年間）				0人
合計（年間）				35人
(備考)				

※ 本表において、第Ⅰ区分、第Ⅱ区分、第Ⅲ区分とは、それぞれ大学等における修学の支援に関する法律施行令（令和元年政令第49号）第2条第1項第1号、第2号、第3号に掲げる区分をいう。

※ 備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

2. 前年度に授業料等減免対象者としての認定の取消しを受けた者及び給付奨学生認定の取消しを受けた者の数

(1) 偽りその他不正の手段により授業料等減免又は学資支給金の支給を受けたことにより認定の取消しを受けた者の数

年間	0人
----	----

(2) 適格認定における学業成績の判定の結果、学業成績が廃止の区分に該当したことにより認定の取消しを受けた者の数



	右以外の大学等	短期大学（修業年限が2年のものに限り、認定専攻科を含む。）、高等専門学校（認定専攻科を含む。）及び専門学校（修業年限が2年以下のものに限る。）		
		年間	前半期	後半期
修業年限で卒業又は修了できないことが確定			0人	0人
修得単位数が標準単位数の5割以下 (単位制によらない専門学校にあつては、履修科目の単位数が標準単位数の5割以下)			0人	0人
出席率が5割以下その他学修意欲が著しく低い状況			0人	0人
「警告」の区分に連続して該当			0人	—
計			0人	—
(備考)				

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

上記の(2)のうち、学業成績が著しく不良であると認められる者であつて、当該学業成績が著しく不良であることについて災害、傷病その他やむを得ない事由があると認められず、遑つて認定の効力を失つた者の数

右以外の大学等	短期大学（修業年限が2年のものに限り、認定専攻科を含む。）、高等専門学校（認定専攻科を含む。）及び専門学校（修業年限が2年以下のものに限る。）			
	年間	前半期	後半期	後半期
		0人	0人	0人

(3) 退学又は停学（期間の定めのないもの又は3月以上の期間のものに限る。）の処分を受けたことにより認定の取消しを受けた者の数

退学	—
3月以上の停学	0人
年間計	—
(備考)	

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

3. 前年度に授業料等減免対象者としての認定の効力の停止を受けた者及び給付奨学生認定の効力の停止を受けた者の数

停学（3月未満の期間のものに限る。）又は訓告の処分を受けたことにより認定の効力の停止を受けた者の数

3月未満の停学	0人
訓告	0人
年間計	0人
(備考)	

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

4. 適格認定における学業成績の判定の結果、警告を受けた者の数

	右以外の大学等	短期大学（修業年限が2年のもの限り、認定専攻科を含む。）、高等専門学校（認定専攻科を含む。）及び専門学校（修業年限が2年以下のものに限る。）	
	年間	前半期	後半期
修得単位数が標準単位数の6割以下 (単位制によらない専門学校にあつては、履修科目の単位時間数が標準時間数の6割以下)		0人	0人
GPA等が下位4分の1		—	—
出席率が8割以下その他学修意欲が低い状況		—	—
計		—	—
(備考)			

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。